



## 三郷サンサンハウスの三つの理念

- 1 住み慣れたまちで暮らしつづけるために必要な支援を幅広く行ないます
- 2 利用者や地域から信頼される事業所・職員として成長します
- 3 安全・平等・平和な社会環境づくりの一端を担います

三郷サンサンハウス  
 三郷町三室 2-5-22  
 三郷町東信貴ヶ丘 1-2-27  
 三郷町東信貴ヶ丘 1-5-12  
 Tel /0745-32-3535  
 Fax/0745-32-3519  
<http://www.3533house.com>



初夏の晴れ晴れとした青空がうれしい季節となりました。

日頃はあたたかなご支援をありがとうございます。

昨年6月に理事長の職を引継いでから、あっという間の1年でしたが無事に定例総会を終えることができました。

管理者はじめ、一緒に働く職員に感謝の気持ちでいっぱいです。

介護人材確保の難しさや、新型コロナウイルス感染拡大の影響など不安な要素も多くあるなか、皆で意見を出し合いながら、一歩ずつ前進しています。

これからも地域で必要とされる事業所になれるように努めてまいります。

三郷サンサンハウスを見守ってくださいますようお願いいたします。

理事長 重松 知子

夏の訪れが待ち遠しい今日この頃、お元気でお過ごしでしょうか。

今年度の定例総会が6月11日に開催されました。

2022年度の事業報告及び決算報告、2023年度の事業計画及び予算案についての承認を全て頂きました。また新たな事業年度に向かって歩みを進めていきます。

さて、三郷サンサンハウスは2004年(平成16年)1月から事業を始めており、来年2024年にちょうど20周年を迎えます。

昨年、前任の上野登志子の勇退に伴い、重松知子が新理事長に就任してちょうど一年が経ち、まだまだ成長途中ではありますが、新しいリーダーのもと、地域に根ざした介護事業所として役立てるよう邁進しております。

またいつもありがたいご寄付をいただき、職員一同感謝しております。今後とも皆様のご協力ご指導のほど、どうぞよろしくお願い致します。

事務局長 前川 直子

梅雨を楽しく過ごすために、先日、カラフルな傘を奮発して買いました。

お陰で雨の日でも、気持ちが少しでも明るくなりそうです。

さて、5月からサンサンハウスのInstagramを始めました。(右上二次元バーコードから行けます)

各事業所の明るいスタッフや、質の高いリハビリ、デイに来ればこんなに元気になる、という様な、高齢者のパワーや、元気な利用者様、イキイキした働く仲間の様子を発信出来たらと思います。

そして「私達と一緒に働いてみたいな」という方が一人でもおられたら嬉しいです。

何分、不慣れで教えていただきながらの発信になりますので、温かく見守って下さい。宜しく願いします。

本部事務局 岡副 淳子



長いコロナ禍のあとの行動制限緩和を受けて、この春より少しずつ利用者様と外出をするようになりました。笑顔で桜を見上げる利用者様にほっこり嬉しくなりました。今年は時期や規模を検討しながら、花見や外食に行く、喫茶店でスイーツを食べる、焼肉パーティ、ドライブがてらソフトクリームを食べに行く、おやつのお菓子を買っていく、いろいろなイベントを楽しみたいと思います。

今は中止していますが、以前の萌の里は1年を通して家族様や地域の方と交流するイベントを企画開催していました。参加して下さっていた皆さま、ありがとうございます。

毎月最後の水曜日の『おばあちゃんの駄菓子屋』は子ども達の社交場でした。幼稚園の小さな子がお母さんからお金を受け取って、並んでいる駄菓子を真剣な顔で見て選び手に取って「ください」と言ってくれます。困っている子には年上のお姉さんお兄さんが手助けしてくれ、売り子のおばあちゃん（利用者様や地域の方）と学校の話や今は何が楽しいとか、好きなお菓子を仕入れて欲しいとか、何気ない会話が閉店まで続きます。



夏は地域の方々へもお声を掛けて流し素麺をしました。素麺と一緒にフルーツが流れてくると子ども達の歓声があがります。

三室自治会の三室納涼祭では、福島県授産事業振興会やちいろば園さんのお菓子を販売しました。

8月の地藏盆では、かき氷や唐揚げ、フライドポテトやお菓子をふるまい、その横のテントの中で地域の方が囲碁や将棋をさす風景がのどかで素敵でした。

10月の観月祭では地域の大人の方が集まり、肉屋さんから仕入れたお肉で焼肉をして、お酒と料理と交流を楽しみました。

11月には三室防災部の教えを受けて、大声で「火事です」と知らせながら職員をタンカの代わりに毛布に乗せて、窓から避難する訓練をしました。

12月は利用者様と家族様をご招待してクリスマス会をしました。

今後、イベントの再開が決まりましたら、お知らせをさせていただきます。地域の皆さまのお力を貸していただき、徐々にでも活気が戻ることを願っています。子ども達が「トイレを貸してください」と気軽に立ち寄ってくれて、地域交流スペース「あづまや」を地域の方に使っていただき、これからも地域に根ざしていけたらと思います。

事務 塩野 加奈子





高齢者・障害者の身体介護・家事援助等の日常生活支援



ヘルパーステーション

★☎ 32-3535★

ヘルパーステーションでは、現在、訪問ヘルパーは9名、介護タクシー専従ドライバー1名（訪問とタクシーの兼務2名）、事務1名で活動しています。

お一人のご利用者さんの訪問に、複数人のヘルパーが交代で訪問させてもらっています。

実は、お互い顔を合わすことが少ないヘルパー同士。月に1回、ヘルパー会議を開催し、意見交換をしています。一人では気づけないご利用者さんの小さな変化や支援の改善点を見つけることが出来、個々で活動する私たちにとって、とても大切な会議です。と同時に、1か月ぶりの集合。会議が終わった後の他愛のない会話にも花が咲きます。

仲間との切磋琢磨と、楽しいおしゃべりがヘルパーたちの元気の源ですね。

決まった短い時間内での会議ですが、ご利用者さんお一人お一人の生活を支えるため、より良い介護のため、会議での話し合いを大切にしていきたいと思います。 管理者 杉生 祐加

思いに寄り添う第二の我が家



高齢者の家あかねの里

★☎ 31-3536★



今年の4月であかねの里に勤務して1年になりました。当初は管理人として勤務していましたが昨年9月より介護士と兼務するようになりました。介護の仕事は初めてで入居者の方との接し方に戸惑う事もありました。先輩方に色々なことを教わる毎日です。

入居者の方と毎日過ごす中で「ありがとう」「ありがとね」の言葉とニコッとしてくださる笑顔に心がほっこりし「こちらこそありがとうございます」と、私も自然と笑顔になります。

リビングから見える景色がきれいで日常生活にも四季の移り変わりが感じられ入居者

の方と楽しく過ごし話が弾みます。

リビングに入る日差しが心地よく、一緒にソファでくつろぎ、ゆっくり時間が流れていくのを感じています。これからも笑顔を忘れず、入居者の方が安心して生活していただけるよう心掛けていきたいと思っています。

管理人・介護士

植田 純代



新しい仲間が加わり一年が経ちました。

忙しくする中で私たちも一緒に楽しむことやゆっくりする時間を忘れず支援させていただけたらと思います。

管理者 中尾めぐみ



お家での「したい」「ありたい」

お一人お一人のリクエストをキャッチ&プラン(^\_^♪)

### 居宅介護支援事業

★☎ 32-3535★

2019 年末から3年以上、私たちの日常生活をあらゆる面で不自由にさせたコロナ禍は、ようやく収束に向かっているようです。コロナに言いたいことは沢山ありますが、何せコミュニケーションが取れない相手です、それより、今まで制限されていた家族や友人とのコミュニケーション、ふれあいの復活を喜びたいと思います。

利用者の皆様にはデイサービスで会えるご友人やスタッフとの交流、訪問ヘルパーとの会話等、介護サービスで何気ない日常を楽しんでいただけたらなと思います。

介護のご相談もいつでも承ります。事務所にお越しいただいても、お電話くださっても大丈夫です。

管理者 川島 星子

どんな障害があっても自分らしくを支援

### 特定相談支援事業所

★☎ 32-3535★



障害福祉サービスを受けていた人も 65 歳になると、介護保険のサービスが優先されます。療育手帳を持つ N さんが 64 歳の時、二人暮らしをしていたお母様が突然お亡くなりになりました。

一人暮らしになると、潔癖症による不安症がとても強くなり、手を洗い続けたり些細な事でも昼夜を問わず何度も電話をかけて誰かに確認しないと次の行動に移れなくなりました。作業所スタッフの携帯に一日 100 回以上の電話を入れることもありました。他県に住む弟さんと相談して、不安なく暮らせる環境が必要と、グループホームに入所しました。そこでは外出や外泊も許可を取れば自由に出来て、毎週自宅に帰り神徒壇（しんとだん）にお供え物をしたり、大好きな就労支援 B 型事業所（雇用契約は結ばずに生産活動の機会を提供する作業所）にも週 5 回通うなど規則正しい生活リズムができました。

ところが、65 歳で介護保険制度へ移行すると、介護保険に無いサービスは継続できるので B 型は継続可能ですが障害者のグループホームは退所になります。町の福祉課から高齢者住宅を早く探しておくようにとの指導を受けました。介護保険のグループホームは認知症の人が対象となる認知症対応型共同生活であり、障害者のグループホームとは全く違います。このまま現在のグループホームに住み続ける何か方法はないものかと関係者で話し合っ、町に嘆願書を出すことにしました。

\*入所してからは不安になることが無くなりストレスを溜めずに生活ができて落ち着いている。

\*障害の特性を理解し知識や経験のあるスタッフがいる現在のグループホームでの生活を本人が強く望んでいる。等々、それぞれの思いを訴えました。

後になって解った事ですが、実際は身体障害者の人は 65 歳を過ぎての新たな入所はできません（但し若い時から入所してる人は継続可能）が、精神及び知的障害の人は 65 歳を過ぎてからでも入所出来るという事でした。福祉課は 65 歳になると介護保険優先との大原則に則ったルールを大事にされたのでしょう。

“私が死んだあとが心配です。この子の事どうかよろしくお願いね！” といつも言っておられたお母様。彼の居場所が見つかりましたよ。どうかご安心下さいね。

相談支援専門員 中川香代子



困ったときはお互い様 みんなで助け合い

### たすけあいの会

★☎ 32-3535★

介護保険の訪問介護による生活支援は、原則、同居家族がおられる場合、利用することができません。また、庭仕事や、大掃除の範疇に含まれるとされる掃除はできないことになっています。

自費サービスであるたすけあいではそのような制約なしに、生活の困りごとをご相談いただくことができ、介護認定を受けていない方でも、ご利用いただけます。15分 500円から、ご利用の日程は応相談です。お早めにご相談ください。 管理者 杉生 祐加

車両での送迎、乗降介助で 安全な外出をサポート

### 福祉タクシー

★☎ 32-3535★

介護が必要な方の為の、自費のタクシーです。車椅子でのご乗車も可能です。お買い物の行き帰りなど、介護保険の乗降サービスでは行くことができない場所への移動は、福祉タクシーにお尋ねください。（現地での付き添いサービスはありません。）

ご利用いただく前に、どのような介助が必要なのか、希望の日時が開いているか、などの確認が必要となります。ご利用をお考えの際には、お早めにご相談ください。 管理者 杉生 祐加

心とからだ元気になる拠り処

### サンサンサロン

★☎ 32-3535★

木曜日 10:00~ サンサン体操・手芸サロン

#### 笑顔をひとつ、毎日ひとつ

季節の変わり目は体調を崩しがちですね。

気温の変化に体がついていけなかったり、花粉や黄砂、ハウスダストのアレルギーに困ったりと人それぞれです。体調がすぐれないと気持ちも沈んでしまいますね。そんな時に笑顔をひとつ添えられたら、心も身体も緩めることができます。



何ができるかお楽しみ



和紙でカーネーション

笑う事の効用は古くから謳われていますが、脳が活性化されて記憶力や免疫力がアップするそうですよ。

笑顔は自分だけでなく回りも幸せな気持ちにしてくれます。

笑顔は自分だけでなく回りも幸せな気持ちにしてくれます。サロンのスタッフは“何でも上手に出来過ぎない”の

がご愛嬌。手遊びも歌も、間違えてもみんなで笑い飛ばしてもらえたら、みんなが幸せな気持ちを共有できます。一人一回は笑って帰ってもらう事が信条です。サロンは自由参加ですので毎週参加できない方もいらっしやいます。人数に応じてプログラムも変わりますが、楽しい・おいしい・嬉しいのどれか一つでもお持ち帰りいただけたら。 サロン責任者 辰巳 雅子

リハビリデイサービスくるみ ～身体重心道～

★☎ 32-3535★



リハビリデイサービスくるみはおかげさまで昨年10周年を迎え、20周年をめざし歩みつづけています。

今年は3月に桜が満開となり、あっという間に春が通り過ぎてしまいましたね。温かかった3月は天候にも恵まれて、くるみの花見は青空の中笑顔満開でした(\*^▽^\*)

さて、4月に行われたサンサンハウスの事業所研修では、「身体の動かし方」としてリハビリデイサービスで行っているプログラムを実際に職員に体験してもらいました。

まずは講習です。「なぜ姿勢がゆがむことが身体に悪い影響を及ぼすのか？」

それは身体の筋膜(筋肉)、腹膜(内蔵)、硬膜(脳)3つの膜が歪みその間に流れる水の流れが滞り、身体のあらゆるところに凝りとして健康を害することが分かってきたからです。

介護や事務などの仕事をする上で大切なことは、正しい姿勢で正しい動きをすることにあり、正しい動作の積み重ねが自分の健康を守ってくれます。講習後自分の姿勢をみながら機能訓練士に正しい姿勢を矯正してもらい、温熱で身体の緊張をほぐし、レッドコードでの運動を行うとの一連の行動で、いままで窓ガラス越しに見ただけではわからなかった“自分の身体の状態”を感じてもらえました。また、普段くるみで利用者に伝えていることを再確認しながら準備を進めることで、プログラムを深く掘り下げたり、伝え方の工夫をしたりとくるみ職員自身も成長することができました。



仲よしツーショット

サンサンハウスで働いているスタッフたちがいつも元気で、楽しいと思ってもらえるためにも、くるみの力が発揮できたらと益々はりきっております。 管理者 岡本 真弓



新任職員の紹介



右が山村です\(^o^)/

「今年の4月からくるみの職員として採用された山村昂平です。萌の里での勤務にも入っています。子どもたちの運動にかかわる仕事をしてきました。介護の仕事は初めてで教えていただくことの方が多いのですが、自分なりに工夫して、皆様が気持ちよく体を動かし笑顔になれるような、年をとっても貯筋をして自分らしく元気に暮らしていただけるようなお手伝いが出来たらと思います。



これからもどうぞよろしくお願ひします。」 山村 昂平

## サンサンハウス

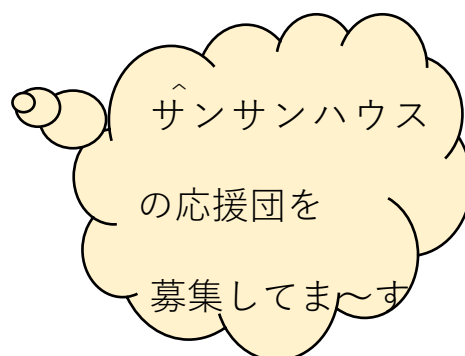
### くるみ STYLE



くるみ style は今年で4年目になり、レッドコードの一般向けおよびリハビリプログラムやヨガのレッスンを行っています。運動が体にいいことはわかっていますが、続けることが難しい！ですよね。利用者同士が声を掛け合い楽しんでくるみにきてくださることが、一人ではなく一緒に運動をする感覚となり継続につながり、ありがたいことに開所時から続けてくださっている方もおられます。1か月ではできなかったことを3か月6か月1年と続けることで少しずつ変わっていくことを実感していただけだと思います。ぜひ体験してみてください( ^ )  
管理者 岡本 真弓

新年度の会費よろしくおねがいします。

	入会金	年会費
正会員	1,000	3,000
一般会員	1,000	1,000
賛助会員	1,000	3,000



あらたにたくさんのご入会

ご寄付によるご支援をお願いします

イオンイエローキャンペーンにご協力ありがとうございます

イオンいかるが店、ビッグ平群店では毎月11日には黄色のレシートを発行します。そのレシートを三郷サンサンハウスの箱に入れていただくと、レシートの合計額に合わせて両店舗様から事業所に寄付頂けます。

長年にわたる皆様のご協力の成果で洗剤を購入し、各事業所で使用しています。この紙面でお礼申し上げます。





サンサンハウスでは、色々な介護に関するご相談をお受けしています。

ちょっと手助けが欲しいのだけれど・・・ もう少し違う介護が受けられないか・・・  
こんな事は何処に話したら良いの？・・・ など、など・・・

とりあえず何でも相談出来る「窓口」となります。

本部事務所、または各事業所まで(^\_^)v

◎本部事務局・居宅支援事業所（ケアマネ）・機能訓練デイくるみ・訪問介護

……ところ：東信貴ヶ丘1-2-27 ☎32-3535

◎共同住宅あかねの里 ……ところ：東信貴ヶ丘1-5-12 ☎31-3536

◎小規模多機能ホーム萌の里……ところ：三室2-5-22 ☎33-3555



## 職 員 募 集



一緒に働いて下さる方を募集しています！！

○高齢者の家あかねの里 …… 介護職員・調理員

○ヘルパーステーション …… 訪問介護職員

○デイサービスセンターくるみ …… 機能訓練指導員・介護職員

○小規模多機能ホーム萌の里 …… 介護職員・ケアマネージャー

・看護職員

一度見学に来てくださいね～(\*^▽^\*)

常勤・非常勤、朝・夕方だけの勤務など時間は相談に応じます  
経験の有無不問、未経験者・経験不足の方には指導、援助します  
資格のない人には、資格が取れるように支援します

※ 詳しい内容は、ハローワークの求人票をご覧ください

※ 事務局（☎ 0745-32-3535）にお問い合わせください